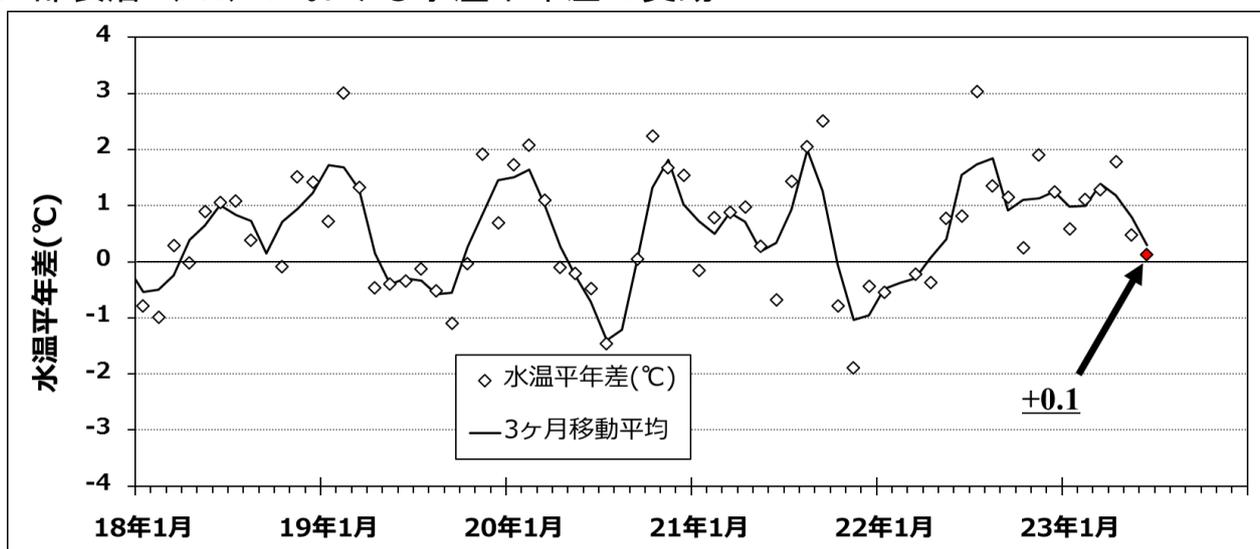


【水温の変動】

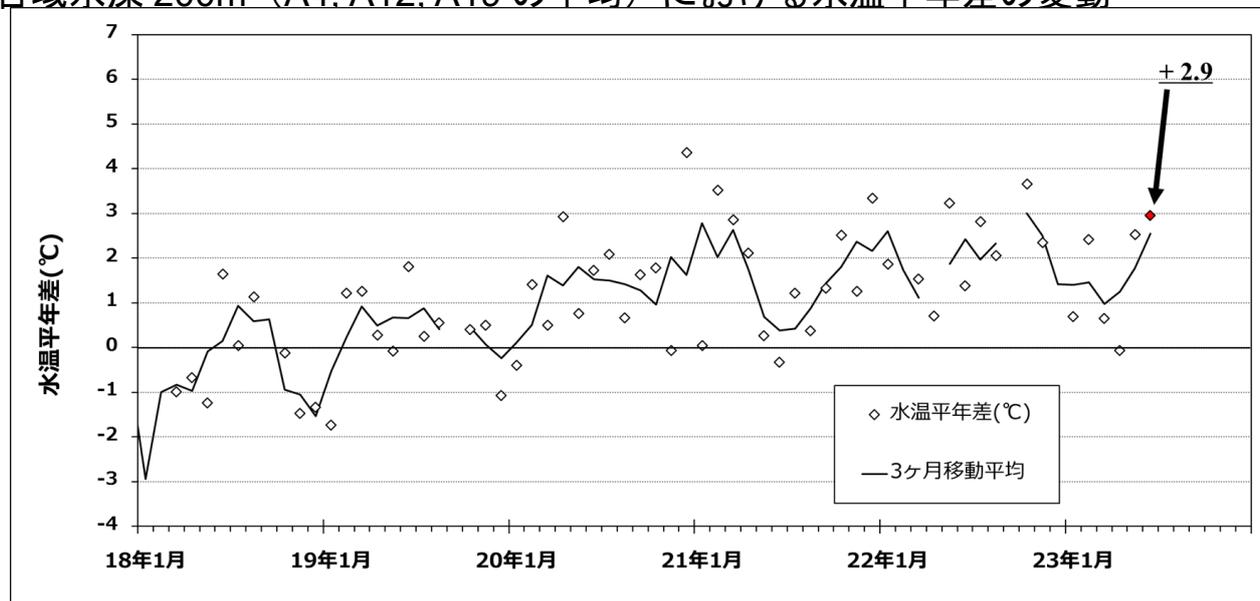
6月5、6日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+0.1°Cで平年並み（プラス基調）となっています。沖合域の水深 200m では平年差+2.9°Cで極めて高めとなっています。6月5日の人工衛星画像によると、黒潮は御前崎沖の北緯 31 度付近から御前崎沖北緯 34 度付近まで S 字状に北上し、東へ流れています。現在の流路は黒潮流軸の南端が北緯 32 度以南にあり、かつ御前崎正南を北緯 33 度以北で通過する As 型流路となっています。現在、御前崎沖に著しく接近する黒潮主流の影響により、遠州灘沖は高温傾向となっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去 10 年平均值との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で19.1~25.3℃となっており、黒潮本流が接近している影響で沖へ向かうほど高温傾向となっています。水温の鉛直断面図によると、等高線が沖へ向けて高くなっており、沖合は東向きの流れが強くなっていると考えられます。クロロフィルa濃度は、沿岸域（A1、A10）から中間域（A15）までの表層で濃度が高くなっています。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度、クロロフィルa濃度の鉛直断面図

